

中部の住宅・建設会社が、不足する専門人材を確保しようと踏み込んだ対策を講じている。戸建て住宅のウッドフレンズは外部頼みだった大工を自社で育成する取り組みを始めた。総合建設の矢作建設工業は設計や監督といった基幹業務で外国人の採用を増やす。中部では人手不足による工事の遅れも目立っており、現場の核となる人材の育成に総力を挙げる。

「釘打ち機は力をかけて」。愛知県内の住宅の施工現場で、4人の若者が熟練大工の指導を受ける。今春に高校や専門学校を卒業し、ウッドフレンズに入社した新人大工の1期生だ。2年ほどかけて技術を学び、3年目で独り立ちをめざす。給与などの待遇は大卒と同じで、週休2日制も適用する。

住宅メーカーは大工を

## 建設人材確保へ中部奮闘

ウッドフレンズでは新人大工が熟練大工から技術を学ぶ



### ウッドフレンズ 自社で大工育成

下請けの工務店などに頼るケースが多い。職人の高齢化も進み、若い世代の育成が急務と判断した。

「釘打ち機は力をかけて」。愛知県内の住宅の施工現場で、4人の若者が熟練大工の指導を受ける。今春に高校や専門学校を卒業し、ウッドフレンズに入社した新人大工の1期生だ。2年ほどかけて技術を学び、3年目で独り立ちをめざす。給与などの待遇は大卒と同じで、週休2日制も適用する。

住宅メーカーは大工を

ウッドフレンズで養成物の設計を担う。ミヤン

に携わる本多正佳氏は「工場で加工した木材を使う当社は現場の作業は比較的少なく、大工に必要な技術を習得しやす」と話す。5年で20人ほどの大工を自社で育てる考えだ。

同社は理系出身者に限定していた技術職の採用を24年入社から見直し、19・1と比べても突出す

矢作建設工業はミヤン定していた技術職の採用を24年入社から見直し、19・1と比べても突出す

## 矢作建設 設計・監督に外国人

る。愛知労働局によれば「建設・採掘従事者」の6月の有効求人倍率は7・14倍で、全国平均（5・07倍）より高い。

人手不足はすでに工事の遅れという形で影響が出ている。名古屋市中心部の地下鉄丸の内駅近くで建設中の「名古屋シミズ富国生命ビル」（16階建て）は、完成予定が当初から2カ月延びて24年3月になる。岐阜県中津川市で3つの小学校を統合してできた学校も、23年4月の新学期に新校舎の完成が間に合わず、7月にずれ込んだ。

再開発が活発な都市部ではビルなどの計画が相次ぎ、人手不足や資材高で建設費が高騰している。地域の建設会社は街づくりの中心的な役割を担うだけに、円滑な技能継承に向けた取り組みが一段と重要になる。

（内山千尋）

許諾番号30094839 日本経済新聞社が記事利用を許諾しています。